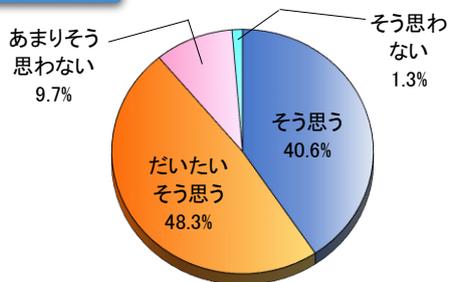


【教職員アンケート結果】 令和2年度

全項目の総合では、**肯定的な評価が89%**、**否定的な評価が11%**と、保護者からの評価と同程度の結果となりました。教職員の真摯な姿勢が自己評価の結果につながったと思われます。

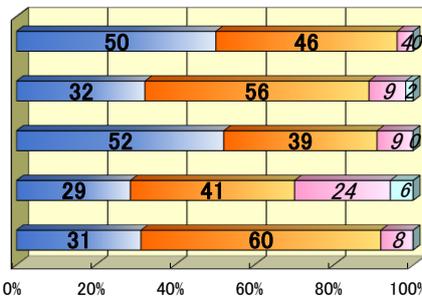
観点別では、「**信頼される教育**」96%、「**豊かな心**」92%と、教職員の意識と取組の高さがわかります。しかし、本校の重点目標である「**確かな学力**」は88%とやや低く、さらに「**健やかな体**」は70%と極端に低い評価であり、コロナ禍における大きな課題が浮き彫りとなりました。

総合評価



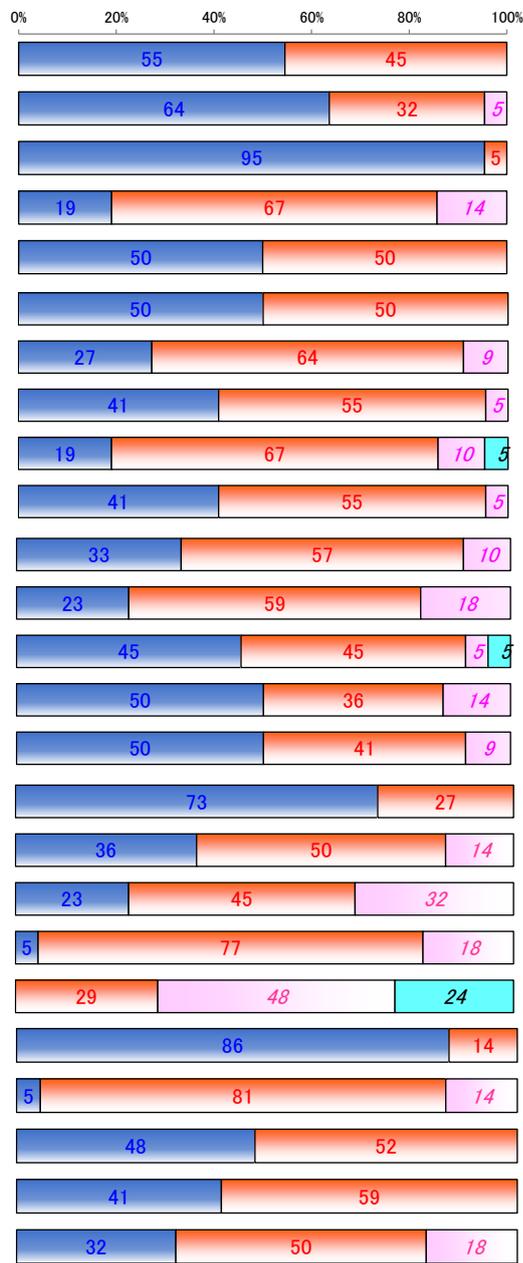
観点別

信頼される教育
 確かな学力
 豊かな心
 健やかな体
 輝く未来



評価項目別

観点	No.	評価項目	評価内容
信頼される教育の確立	1	学校の組織力と学校運営	校長が精度の高い地図と羅針盤をもって明確な経営方針を示し、全職員が経営参画できる同僚性と協働性を高める。
	2	安全管理危機管理	児童の安全安心を完全に優先させ、命を守るために、危険予知・未然防止の徹底等、安全管理・危機管理を徹底する。
	3	学校公開情報発信	学校行事や学校公開日などの機会を多く設けるとともに、学校方針や活動状況など、有用な情報を積極的に伝える。
	4	カリキュラムマネジメント	教育目標達成のため、教科横断的に各教科等の教育内容を相互に関連付け、配列し、教育課程全体と往還させる。
	5	学校・家庭・地域の連携協働	教育活動に必要な人的・物的資源を、地域等の外部の資源も含めて活用しながら効果的に組み合わせる。
	6	共にある教育の実現	学校・保護者・地域が互いに当事者となり、未来の学校の姿を見据えて共通の目標を共有し、教育課程を編成する。
	7	働き方改革の徹底	全職員が、働き方改革の意義を理解し、野球型からサッカー型の職務行動へと変革し、個が自律した組織とする。
	8	ワンチームでビジョンを共有	通常級、専科、さくら学級、きこえとことば、大空教室、事務職員等、すべてが同一のビジョンを共有する組織とする。
確かな学力の定着	9	基礎的・基本的な学習の定着	授業改善推進プランに基づき、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を目指し、指導方法の工夫改善に努める。
	10	学びに向かう姿勢の向上	新たな価値を創造する「学ぶ意味」を理解させ、答えのない課題に最善解を導くことができる資質能力を育成する。
	11	学習習慣・学習規律の定着	補習教室で「学ぶ意欲」「学ぶ力」「学び続ける力」を育成するとともに、家庭学習を支援し、学習の習慣化を図る。
	12	外部人材ICT活用	各教科等で外部人材やICTを効果的に活用し、児童の興味・関心を高め、自ら学ぶ力や学び合い、教え合う力をつける。
	13	ユニバーサルデザイン	ユニバーサル・デザインによる分かりやすい授業、やさしい授業、個に応じた指導の工夫に努め、適切な支援を行う。
豊かな心の醸成	14	社会性の向上	認知、感情統制、対人スキルを養い、やり抜く力、辛抱する力を育成し、自他ともに敬意をもって関係する力をつける。
	15	自己有用感の醸成	学校・家庭・地域で、児童一人一人が「かけがえのない存在として大切にされている」と実感する自己有用感を高める。
	16	心の居場所づくり	一人一人の居場所がある学校作り、児童の心に寄り添う相談を心掛け、一人で悩みを抱えない雰囲気を作る。
	17	特別支援教育の推進	教師自らの人権感覚の意識を高め、自他を大切にし、偏見や差別を許さない豊かな人権感覚を磨く教育を行う。
健やかな体の育成	18	基本的な生活食習慣の定着	系統性を重視した意図的・計画的な健康と食に関する学習を推進し、児童が主体的に心身の健康の保持増進を図る。
	19	体力・運動能力の向上	体育の授業改善、日常的な運動習慣の定着により、生涯に渡って積極的に運動に親しむ資質や能力を高める。
	20	オリ・パラ教育の推進	日本人としての自覚と誇りを持ち、自ら学び行動できる国際感覚を備え、多様性を尊重し、共生・共助社会の実現を目指す。
	21	健康管理保健衛生	すべての子供たちが「一人にひとつの命」を自覚し、かけがえのない命を自ら守ろうとする意識と行動力を育成する。
輝く未来	22	課題解決・探究的な学びの充実	習得・活用・探究という学習プロセスの中で、問題発見・解決を念頭に置いた深い学びの過程を実現させる。
	23	主体的対話的で深い学びの推進	他者との協働や外界との相互作用を通じて、自らの考えを広げ深める、主体的に対話的な学びの過程を実現させる。
	24	地域の学校としての役割遂行	社会の創り手に必要な資質・能力の明確化し、児童が未来に向き合い主体的に関わっていく多彩な学びを展開する。
	25	未来を創造する学校図書館	各教科等で、学校図書館の機能を計画的に利活用し、児童の主体的・意欲的な学習活動や読書活動を充実する。



※ グラフの数値%は、四捨五入しているため、100%にならないことがあります。